

透明性・信頼性への取組み

環境マネジメントレベルの向上

J-POWERグループ各事業所で環境マネジメントシステム(EMS)を導入し、環境行動計画の策定、定期的な取り組み状況の把握と評価、取り組み方策の見直しを行い環境マネジメントレベルの継続的な改善に取り組んでいます。

また、さまざまな環境負荷を伴う事業の当事者として、従業員一人ひとりがJ-POWERグループとしての環境管理を理解し、それぞれの役割に対する責任感を忘れないよう、職務レベルに応じた環境教育を行っています。(右図)

このほか、廃棄物処理業務に特化したスキルアップ研修を業務経験に合わせて開催。また、産廃コンサルタントによる現地視察も毎年実施しています。

全従業員に対しては、環境に関するeラーニングを毎年開催するほか、現地-本店のコミュニケーションを円滑化する情報交流会も多くの地点で開催しています。

廃棄物

廃棄物処理業務スキルアップ研修
(2022年度ビギナー編150名、スタンダード編113名)
廃棄物処理担当となった社員を主な対象として、法規制や解釈事例を踏まえて実務スキルアップをねらう。

廃棄物処理リスク診断 (3地点)
毎年、産廃コンサルタントと共に数地点を視察。廃棄物処理業務の適切な執行を診断し、改善点があれば対象以外の地点にも広く展開。

全従業員

環境eラーニング (受講率：86.0%)
職務や経験年数に寄らず、広く環境問題意識を浸透させるため、全従業員を対象に毎年、eラーニングを開催。

現地-本店

環境情報交流会 (99地点)
本店環境部門と各事業所の環境管理責任者および担当者との情報交流。社会のうごきや法改正に関する連絡。環境管理の継続的改善に関する意見交換など。

表：職務レベルに応じた環境教育 (2022年度実績)

